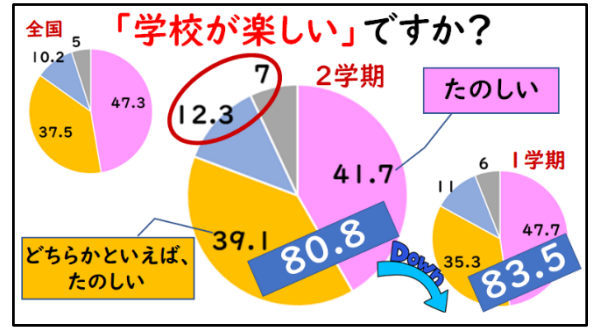




は楽しいな。」と思ってもらいたいと思っています。

皆さんが答えてくれた2学期の学校評価で、「学校が楽しい」「どちらかと言えば楽しい」と答えた人は80.8%でした。1学期よりもやや下がっています。全国学力学習状況調査(6年生)の全国の数値と比べると、東小の1学期の結果とよく似ています。傾向も同じで、一定数、学校が楽しくないと感じている人がいることが分かります。

皆に「学校が楽しい」と思ってもらいたいけど、簡単なことではないようです。今日は「しあわせのバケツ」という一冊の絵本を紹介します。



「世界中のだれもがもっている幸せのバケツ。見えないけれど、みんなもっている。」「なぜ、幸せのバケツをもっているのでしょうか。それは、みんなのよい心やうれしい気持ちを入れておくため。」「バケツがいっぱいになると、幸せな気持ちになれる。でも、バケツが空っぽになると、悲しく、そしてさびしくなる。」「どうすれば、バケツをいっぱいにする

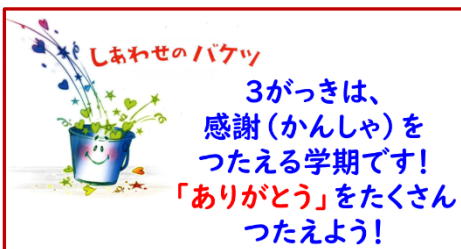
るんだろう・・・。あなたがバケツを幸せでいっぱいにするには、まわりの人の協力が必要。まわりの人も自分のバケツをいっぱいにするには、あなたの協力が必要。」「だれかに好きな気持ちを伝えたり、親切にしてあげたり、ほほえみかけたりしたときに、幸せのバケツはいっぱいになる。これが、バケツを幸せでいっぱいにする方法。」「あなたが、だれかのバケツをいっぱいにすると、あなたのバケツもいっぱいになるんだよ。」



「自分も相手も大切にすること」という本校の目標につながるお話です。あいさつは、相手のバケツをいっぱいにするでしょう。でも、悪口やいじわる、いじめは、相手のバケツを空っぽにしてしまいます。同時に、自分の幸せのバケツも空っぽにしてしまいます。

令和6年度も残り3か月を切りました。6年生はまもなく卒業を迎えます。進級した時、今年同じクラスで生活したお友達とまた同じクラスになるとは限りません。担任の先生も代わる場合が多いでしょう。

3学期は感謝の気持ちを表し、伝える学期です。お世話になった人に、その都度、しっかりと「ありがとう」の気持ちを言葉で伝えてください。お互いの幸せのバケツをいっぱいにする毎日になるといいですね。



校長先生のお話はおよそ15分でした。その間、子供たちはしっかりと顔を上げ、お話を聞いていました。本校の文化として取り組んできた「相手を大切にしたい聞き方」が子供たちの習慣になっていることをうれしく思いました。

6年生の伴奏で歌った校歌には、浅羽東小としての一体感がありました。すばらしい新学期の幕開けとなりました。

